



# 伝統文化親子教室

伝統文化親子教室は、日本各地の伝統文化を次世代へ継承、発展させることを目的とした事業です。次代を担う子どもたちが、親とともに伝統文化を学ぶ事の出来る教室に対し、文化庁からの補助が行われています。

邦楽のみならず、民俗芸能、工芸技術、華道、茶道など各伝統文化・生活文化の2000以上の教室が、文化庁の認可を受け全国各地で開催されています。

平成26年度、NPO 邦楽指導者ネットワーク21の開催する親子教室が、全国19箇所の支部でそれぞれ採択されました。この7月より、各地の支部で親子を対象としたお箏・尺八教室が始まります。音楽を通じて子どもたちの豊かな人間性を育むため、また邦楽の伝承と発展のために、全国各地の会員による活動が行われます。

文化庁伝統文化親子教室事業 HP より



昨年、狛江支部箏曲正音会では、狛江市立狛江第六小学校において、10月から翌1月にかけて全15回の親子箏体験教室を開催しました。母娘だけでなく、外国人のお父様とお嬢さんの父娘ペアにも参加がありました。

箏の奏法の基礎や譜面の読み方、楽器の扱い方など基本的なことを学んだあとは、童謡をメドレーにした「はじめての一步（渡辺泰子編曲）」を中心に稽古を重ね、今年1月に行われた狛江エコルマホールでのコンサートに参加。親子揃って舞台上に立ちました。



◆参加者の声◆

お箏とは、どんなものかと始めはすごくドキドキしていました。けれど、触ってみると、思ったより簡単に音が出せてもっとドキドキしてきました。

また、お母さんと一緒に合奏したので、家でお箏の話をすることができてうれしかったです。

その後ももっと弾きたくて、先生に習うことにしました。そのきっかけになった親子教室に参加できてよかったです。

25年度伝統文化親子箏体験教室参加者

狛江市立第六小学校

3年・小林咲絢

## ザツツ↓虎の巻

この伝統文化親子教室は、従来の子どもを対象にした教室とは異なり、親子での参加を基本としています。教室を開催予定の各支部の会員にとっては、これまでとは違った取り組み方に挑戦できるチャンスです。

低学年の生徒に伝える事が難しい複雑な奏法や譜面の表記等は、親御さんから噛み砕いた言葉で伝えてもらう等すると、理解しやすくなります。お子さんへの説明を通し、親御さん自身の理解も深まります。一方、大人に比べて身体と発想が柔軟な子どもの方が、比較的早く技術を身につける傾向にあります。大人が上手く弾く事の出来ない箇所は子どもに手本として実践してもらおうと、子どもの自信にも繋がります。

ただ授業を受けてもらうだけでなく、親子二人の間で積極的に教えあえるような環境を作る事で、「親子教室」としての価値が出てくるのではないのでしょうか。

各地の活動の様子は、今後のたよりで紹介いたします。各支部で情報を交換しあい、良い教室づくりを目指して行きましょう。